

1945年、シベリア。  
「日本軍」として捕らえられ、抑留された朝鮮人青年たちは――

# 朝鮮人シベリア抑留 私は日本軍・人民軍・国軍だった

四六判・並製・344頁・定価：2900円＋税 金孝淳【著】 渡辺直紀【訳】



日帝時代に徴兵され満洲に送られた朝鮮人青年たちは、解放と同時にソ連軍の捕虜となり、シベリアに抑留され、その間に故国は分断された。命からがら38度線を越えて南の故郷に帰った者たちに待ち受けていたのは、生涯に及ぶ過酷で非道な日々だった。

反骨のジャーナリストが、東アジアの現代史の空白に迫る渾身のルポルタージュ。

## ■ 目次

### I 抑留、試練が始まる

- 第1章 三八度線に現れた怪青年たち
- 第2章 父の足跡
- 第3章 千島列島からソ満国境まで
- 第4章 解放の喜びは消えて
- 第5章 スターリンの抑留決定
- 第6章 すれちがった運命
- 第7章 シベリアでの生活
- 第8章 ソ連の執拗な戦犯追跡
- 第9章 民主運動の渦

### II 帰還、試練は終わらなかった

- 第10章 帰還、新たな苦難の始まり
- 第11章 朝鮮戦争、再び戦禍に
- 第12章 故郷に戻らなかった人々
- 第13章 強要された沈黙と朔風会
- 第14章 苦しみを分かち合い共同闘争に

【訳者】渡辺直紀(わたなべ・なおき)  
武蔵大学教授。専攻は韓国・朝鮮文学。  
1965年東京生まれ。慶応大政治学科卒。  
出版社勤務、高麗大招聘専任講師を経て2005年より現職。

【著者】金孝淳(キム・ヒョソン)

1974年ソウル大政治学科卒。東洋通信、京郷新聞を経て『ハンギョレ新聞』創刊に参加し、東京特派員・編集局長・編集人(主筆)を務めた。2007年から現場に戻って「大記者」の肩書きで活動し2012年に退社した。「フォーラム真実と正義」共同代表を務め、韓日関係、東アジアの平和・和解・市民運動などをテーマに執筆し、歴史から葬られた人々に対して関心がある。

注文申込書	貴店名・帖合	注文数	発行：東京外国語大学出版会 TEL.042-330-5559 FAX.042-330-5199
			金孝淳【著】 渡辺直紀【訳】 <b>朝鮮人シベリア抑留</b> 私は日本軍・人民軍・国軍だった 四六判・並製・344頁・定価：本体2900円＋税
		冊	ISBN978-4-910635-01-9 C0036 ¥2900E

ご注文はJRCへ →FAX. 03-3294-2177 ※返品条件付き注文扱い